

2018年10月
No.18-107a(本)※5

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■変更内容

- 別掲の一覧表をご参照下さい。

■変更期日

- 2018年12月6日(木)受付日分より

以上

●検査内容変更一覧

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
24	2016	クロナゼパム	基 準 値 (単 位) (治療濃度範囲)	20~70 (ng/mL)	25~75 (ng/mL)	最新のガイドラインまたは医薬品インターフォームに基づいた基準値(治療濃度範囲)、および採血時刻の変更
24	2018	ニトラゼパム	基 準 値 (単 位) (治療濃度範囲)	20~200 (ng/mL)	200 以下 (ng/mL)	
26	2050	ピルシカイニド	基 準 値 (単 位) (治療濃度範囲)	0.2~0.9 (μ g/mL)	Peak 濃度 0.2~0.9 (μ g/mL)	最新のガイドラインまたは医薬品インターフォームに基づいた基準値(治療濃度範囲)、および採血時刻の変更
			採 血 時 刻	次回投与直前 (Trough 濃度)	経口: 投与後 1~2 時間	
35	2106	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)	報 告 範 囲 (単 位)	1.5 未満 1.5~99900000 (pg/mL)	2.0 以下 2.1~99900000 (pg/mL)	報告範囲の変更、データ影響に関する情報を案内書備考欄へ記載
			備 考	ACTH は EDTA 濃度増加により測定値が低下するため、容器の指定容量を採取してください。	必ず血漿分離の上でご提出下さい。抗凝固剤として必ず EDTA をご使用下さい。	
60	3057	HBV ゲノタイプ	検 体 量	血清 0.6 mL	血清 0.5 mL	機器自動化への変更、および検体量、所要日数の変更(下記参照)
			所 要 日 数	3~6 日	3~8 日	

※その他の検査要項に変更はございません。

※頁は総合検査案内 2018/2019 年版の掲載頁です。

HBV ゲノタイプ

■新旧二法の相関

		現法					(n=60)
		A	B	C	D	判定保留	
新法	A	9					
	B		13				
	C			16			
	D				7		
	判定保留					15	

一致率 : 100%

(エスアールエル 検討データ)

■参考文献

田中 靖人, 他:臨床病理 57(1):42~47, 2009. (検査方法参考文献)